

令和3年度 第1回高大連携講座

静電気をを用いたPM2.5の除去に関する研究

活動概要

1. 活動目的

社会で活躍できるエンジニア・研究者の育成

専門分野の
特色を活かす

興味から
主体的な研究へ

進路選択
進路体験

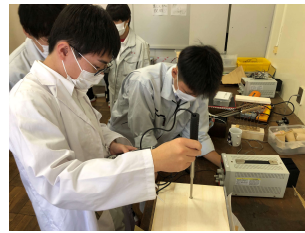
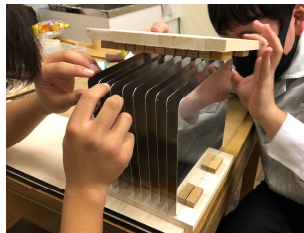
2. 活動団体：課題研究・高大連携WG



10/30(土) 本校にて高大連携講座「静電気をを用いたPM2.5の除去に関する研究」が行われました。神奈川工科大学が高校生を対象に開講している本講座に参加したことがきっかけで、3年生の課題研究でも電気集塵装置の研究をすることになって今年で2年目。先輩から研究を引き継いだ環境エンジニアコース3年生の生徒7名が、この日の連携講座に参加しました。

課題研究の様子 →

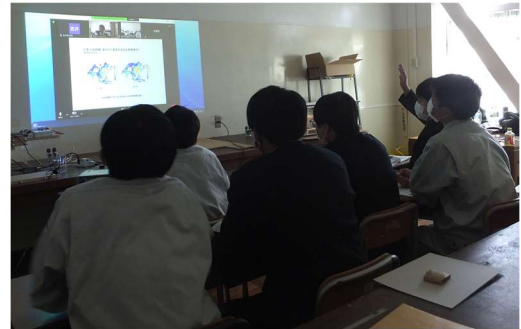
今年度は、電極の材料の違いによる集塵率の違いを調べる。



第1回は、PM2.5の除去に関する研究を行っている神奈川工科大学電気電子情報工学科の瑞慶覧章朝教授ずけらんあきのりにオンラインで講義していただき、研究背景や集塵機の原理について学びました。



神奈川工科大学教授 瑞慶覧章朝 先生ずけらんあきのり



PM2.5について学ぶ生徒たち



講義中の生徒

講義の後、製作中の電気集塵装置を見ていただきながら、瑞慶覧教授に今年の研究内容や進捗状況を説明し、今後の研究についてのアドバイスをいただきました。講座で学んだことや教授のアドバイスをもとに、今後もさらに研究を進めていきます。